

## 建設科の横須賀工高生 貴重な施設間近に圧倒 大成ロテック・東京国際空港

大成ロテックは、「令和6年度東京国際空港旧整備地区G S E 通行帯切回し等工事」で現場見学会を開いた＝写真。神奈川県立横須賀工業高校建設科の2年生32人と教員3人が参加した。

参加者は、施工管理の役割や、空港という特殊な環境下での工事の進め方について現場担当者から説明を受けた後、工事現場を見学した。あいにくの雨の中、普段は立ち入ることができない空港の工事現場に足を踏み入れ、滑走路に隣接するエリアから空港施設を間近に見る貴重な体験に目を輝かせた。現場の臨場感やスケールの大きさに圧倒される様子も見られた。

見学後には、生徒から働き方や現場についての質問があり、担当者が現場のリアルな声を届けた。

生徒は「実際の現場を見て建設業のイメージが変わった。将来の進路として真剣に考えてみたい」との感想を寄せた。

見学会は、将来の建設業を担う若者に業界の魅力や社会的役割を伝えることを目的に開いている。同社の地域貢献と人材育成の取り組みの一環で、引き続き担い手の育成に力を入れていく。

